

継続検討品目群（工法）

提案品目名、品目概要は提案者からの提出資料から抜粋したものです。

平成27年度版

統合品目名	提案品目名	提案品目の概要	比較対象品目名	検討結果	
				分類	理由等
省資源型表面処理工法	ニッポカーベツト	ニッポカーベツトは舗装施工便覧（（社）日本道路協会、平成18年2月）に示されるカーベツトコートに相当し、大型車交通量の比較的小さい道路舗装の延命を目的として、老化した既設路面を加熱アスファルト混合物でリフレッシュする表面処理工法である。また、ニッポカーベツトは従来のチップシールなどの乳剤系表面処理工法に劣らない経済性と、薄層オーバーレイに近い耐久性を兼ね備えている。施工は、乳剤散布装置付アスファルトフィニッシャ「セーフペーパー」を用いて、アスファルト乳剤（PK-4）を散布後、直ちにアスファルト混合物を薄層で敷きならし、ローラで締め固めて仕上げる。 なお、ニッポカーベツトは、路面の性能回復を図る表面処理工法であり、構造強化を目的とするものではない。	薄層オーバーレイ	継続検討 EQS (C)	本品目については、統合品目「省資源型表面処理工法」に該当するものと判断して検討させていただきました。 検討の結果、以下の理由により継続的に検討させていただくこととしました。 期待される環境負荷低減効果が十分か、継続的な検討が必要と考えられる。 ・延命化について実路での検証等、長期供用性の確認が必要 ・ライフサイクルを通じたCO2排出量についての確認が必要 ・乳剤系表面処理工法やシール材注入工法との比較検討が必要 品質確保について不確実性が残ると考えられる。 ・長期供用性について未確認 ・国等の主な管理対象である大型車交通量の多い路線に対する適用性・耐久性が未確認 特定調達品目に指定することにより本品目の普及を図ることができるか、継続的な検討が必要と考えられる。 上記課題を解決した後に、コスト面について普及とともに比較対象品と同程度になる見込みを確認する必要があります。